

取扱説明書



テーブルリフト 高上昇タイプ 均等荷重150kg

注文コード：68115872

このたびは、テーブルリフト 高上昇タイプ 均等荷重150kgをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。
いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。

警告 この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重傷などの重大な傷害に結びつく可能性があります。

注意 この表示内容が無視して誤った使い方をした場合は人的傷害や製品の破損、その他の物的損害へつながる可能性があります。

ご使用上の注意

【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の保障、責任を負いません。
また、本製品の分解や改造、修理は、絶対に行わないでください。

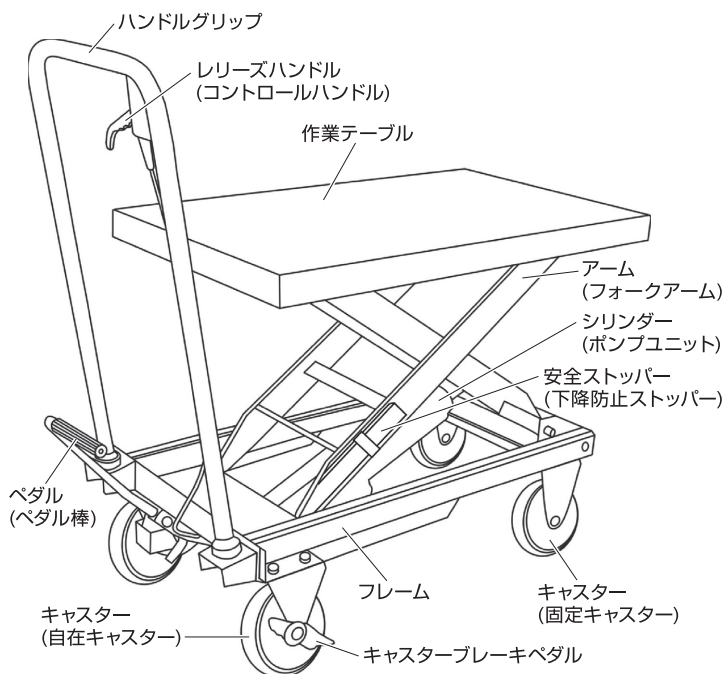
警告

- ・ 本来の用途以外には使用しないでください
- ・ 本製品を踏み台代わりにしないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
- ・ 作業テーブルの上に立ったり、飛び跳ねたりしないでください。転倒し、ケガや破損の原因になります。
- ・ 作業テーブルの下方には入らないでください。
- ・ 作業テーブルには過剰積載しないようにしてください。
- ・ 移動時にリフターの前後に人が立っていないことを確認してください。
- ・ 作業テーブルの上昇中にリフターを動かさないようにしてください。積荷が落ちる危険があります。
- ・ キャスターの前に足を置かないようにしてください。ケガをするおそれがあります。
- ・ リフターのアーム部などの可動部に手や足などを入れないでください。
- ・ リフターの移動中には地面の段差に注意してください。積荷が倒れるおそれがあります。
- ・ リフターを傾斜のある場所で使用しないでください。リフターをコントロール出来なくなり、非常に危険です。

注意

- ・ 急速に作業テーブルの下降をしないでください。積荷が落下し危険です。
- ・ 荷物の積み下ろしの際は十分に注意してください。積荷が不安定と感じたら、リフターの操作を中止してください。
- ・ 積荷を作業テーブルに積み下ろすときはキャスターブレーキを作動させてください。
- ・ 均等荷重を超えて使用しないでください。
- ・ 積荷は必ず、作業テーブル全体の80%以上均等に分散させてください。片寄せた積み方をしないでください。
- ・ 積荷が不安定なときはリフターを使用しないでください。
- ・ メンテナンスの実行は **図 保守点検** の項目に沿って実施してください。
- ・ 作業テーブルから積荷を移動するときは、安全ストッパーをセットさせて作業テーブルの下降防止を実施してから行ってください。
- ・ 本製品は防水処理が施されてはおりません。製品の腐食を防ぐため雨天での使用、屋外での保管はしないでください。
- ・ 小さなお子様が入れない場所に保管し、必ず大人の方が常に管理できる状況でご使用ください。

2 各部の名称

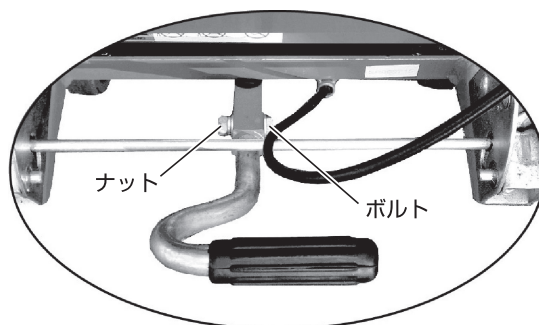


3 ペダルの組付け

1. ペダルに取付けてあるボルト、ナット、ワッシャー類を取外します。

2. フレーム後側にある連結ロッドにペダルを差込みます。

※ ペダルには方向がありますので間違わないように取付けてください。
(下図参照)



3. 穴を合わせ、右側から平ワッシャー(1枚)を通しボルトを締めます。

4. 左側から平ワッシャー、スプリングワッシャーの順に通しナットを締めます。

4 リフターの操作方法

■ ブレーキの使い方

キャストブレーキは自在キャストの横側にあります。

- 1. ブレーキを掛ける時は、キャストブレーキペダルを踏みこみます。
- 2. ブレーキを解除する時は、キャストブレーキペダルを持ち上げます。

⚠ 注意

- ・リフターが停止している時、自然に動いてしまうことを防ぐ為に必ず、キャストブレーキを掛けてください。

■ 作業テーブルの上昇

ペダルを数回踏んでいただくと、作業テーブルが上昇します。
作業テーブルは最高点に達すると、ペダルを押してもそれ以上には高くなりません。また、作業テーブルが最高点に到達すると、最高地点から高さが少し下がります。

- ※ 油圧シリンダーは作業テーブルを支える為の設計で、ごく一般的な油圧システムにより、一定の時間を超えると、作業テーブルがゆっくりと下降します。
長時間、同じ位置に留めることが出来ませんので、ご注意ください。

⚠ 注意

- ・リフターが過負荷にならないようにしてください。
許容負荷内で使用してください。

■ 作業テーブルの下降

レリーズハンドルを軽く握っていただくと、作業テーブルがゆっくり下降します。
レリーズハンドルを強く握ってしまうと急速に作業テーブルが下降し大変危険です。

⚠ 警告

- ・手や足などを機械に挟まれそうな箇所に置かないでください。

5 保守点検時の作業テーブル下降防止安全対策

保守点検等で作業テーブル下部に入る時は、作業テーブルには荷物等がない状態にし、下降防止ストッパーをセットし、作業テーブルやアームが下降してケガをしないように安全対策を必ず実施してください。

■ 下降防止ストッパーの使用方法

- 1. ペダルを踏んで作業テーブルを最高点まで上昇させます。
- 2. アーム部分に取付けてある下降防止ストッパー(左右2本)をフックからはずしフレームにのせます。
- 3. レリーズハンドルを軽く握り下降防止ストッパーをフレームにロックさせます。
- 4. 下降防止ストッパーを解除する時はペダルを踏んで作業テーブルを上昇させます。
- 5. 下降防止ストッパーをアーム部分に戻します。(左右2本)
- 6. レリーズハンドルを軽く握り最低点までゆっくり下降させます。

6 保守点検

保守点検は異常を発見するのに一番有効な方法です。下記の項目をチェックしてください。

- ※ 作業テーブル下部に入る時は必ず【4 保守点検時の作業テーブル下降防止安全対策】を実施してください。

■ 日常点検

- 1. リフターにキズ、変形、亀裂はありませんか。
- 2. キャスターはスムーズに動きますか。
- 3. キャスターブレーキ機能は正常に働きますか。
- 4. リフトの上昇下降動作に異常はありませんか。

■ 日常点検(1ヵ月毎)

- 1. 溶接部に亀裂や破損はありませんか。
- 2. シリンダーからのオイル漏れはありませんか。
- 3. 各接続部のボルト、ナット等のゆるみや破損はありませんか。

■ メンテナンス(1ヵ月毎)

▼ 潤滑オイル給油箇所

- シリンダーの連結部
- リングピン

▼ グリスアップ箇所

- シリンダーの連結部
- アームローラーと作業テーブル、フレーム接触部

- ※ 少しでも異常を感じた場合は、使用を中止し、ただちにモノタロウお問い合わせ窓口にご連絡ください。

7 寒冷地での使用

冬期間、マイナス気温地域に於きましては油圧オイルが硬くなりスムーズな作動が出来ない場合があります。暖かい屋内でオイルが温まり柔らかくなってから使用するか、寒冷地用油圧作動油(ハイドロタイプ極寒用ISO規格No.32以下)に交換することをお勧めいたします。オイルを交換する場合は、モノタロウお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

仕様

均等荷重(kg)	150
作業テーブル(mm) L×W	700×450
作業テーブル高(mm)h~H	302-1100
車輪(mm)D	Φ100
重量(kg)	64
特徴	アーム2段高上昇

- ※ 仕様は、予告なしに変更することがあります。

